



報道関係各位

2011年5月20日
株式会社オークファン

ネットショップなど法人向けに価格情報分析ツール「Pricefan」を提供しているオークファンは、「iPhone 4」の価格・落札動向の調査を実施致しました。

■概要■

ネットショップなど法人向けに価格情報分析ツール「Pricefan（プライスファン）」（<http://pricfan.jp>）を提供している株式会社オークファン（本社：東京都渋谷区、代表：武永修一）は、ECおよびネットオークションの市場における「iPhone 4」の価格・落札動向の調査を実施いたしました。

■本文■

■Android 勢の台頭、そして次期モデルの情報が飛び交うなか iPhone の市場価格が変動

国内外のスマートフォン市場で Android OS 搭載端末が躍進しているようです。その動きは販売価格に影響を与えているのでしょうか。今回は一例として、iPhone 4 という携帯端末の価値がどう判断されているかを知るため、いわゆる SIM フリーの市場動向をみてみましょう。



以上は価格情報分析ツール「Pricefan」を使って、iPhone 4 (32GB 香港版 SIM フリー)の価格動向を過去 3 カ月分表示したものです。つまり「いくらで販売されているのか」です。

水色の線は大手ショッピングモールにある複数店舗の平均価格を示していますが、2 月半ばから月末までは 88,900 円で動きが見られなかったものの、3 月に入ると一時 86,360 円に落ち込んだ後、93,730 円に上がっています。さらに 4 月末には 95,000 円に上がっていますが、これは一部の店舗で在庫分が完売した影響とみられます。

一方、「いくらで売れているのか」を確かめる一助となるのが黄色の線、こちらは、Yahoo! オークションにおける平均落札価格の推移を示すものです。



同じく iPhone 4 (32GB 香港版 SIM フリー) の価格動向を観測し始めた
3 月中旬の 87,100 円台から緩やかに下降する傾向をみせ、4 月にはやや顕著に下降するよう
になりました。ところが 5 月 10 日に 67,973 円まで落ち込んだ後で上昇を始め、
5 月 16 日時点では 77,563 円まで回復しています。

さらに、黄色の線に追従するように紫の線も回復基調を描いているのが興味深いところで
す。この紫線はある特定のネットショップにて提示されている価格を示しています（上に
掲載した画面イメージでは、店名を伏せています）。

●価格再浮上の背景にあるものを探る

通常、電化製品やパソコンというのは発売から時が経過するにつれて値を下げるように思
えるのですが、iPhone 4 の価格再浮上にはどういった事情があるのでしょうか。

いわゆる中古携帯電話の買取・販売を行っているワールドモバイル (<http://worldmobile.jp>)
の伊藤勇太氏に、日々市場動向をご覧になっている立場からご意見をいただきました。

「まず少し前に iPhone 4 の SIM フリーが値を下げていた背景には、同機種ホワイトモ
デルが出るという噂があり、その期待感があったのではないのでしょうか。

iPhone 4 を買い控えていた、ということですね。しかし実際にホワイトモデルが国内で 4
月 28 日に発売されたのですが、どうもファンの期待に応えるものではなかったというこ
とではないのでしょうか。そこで既存のモデルが人気を回復しているということなのでしょう」

また iPhone 4 の買い控えについては、次期モデル (iPhone 5 あるいは iPhone 4S) の
発売時期について様々な観測が流れていることも影響している可能性があります。

6 月 6 日に発表されるという説もあれば、4 月 20 日にロイター通信が報じたところによる
と、「サプライヤーが 7 月にも製造を始め、9 月にも出荷を開始する見通し」とあります
(ただしアップルのコメントは得られていないとのこと)。



あるいは iPhone 4 の落札価格が上昇に転ずるターニングポイント、つまり 5 月 10 日を振り返ると、マイクロソフトがスカイプを 85 億ドルで買収すると発表した日です。これが何らかの影響を消費マインドに与えたのかもしれませんが。

このように次期モデルや今後の勢力図について様々な見方があるなかで、製品の価格が再浮上するというケースが中古携帯電話の市場ではよくあるものなのではないでしょうか。この点についても伊藤氏にうかがいました。

「稀にあります。従来ですと 1 年に 1 機種か 2 機種ほどでしょうか。たとえば SH01C の価格が上がったり下がったりするのですが、これは中国の SIM カードでも使用できるため、日本で買って中国に送るといった方々がいらっしゃるのです。

また Android 端末は最新 OS が登場すると既存モデルが値を大きく下げる傾向があるのですが、その最新 OS へのアップデートが公開されると（旧型機種を最新 OS で使用できるようになると）、またその端末の価格が回復してくるといった動きもみられます」

折しも携帯電話業界においては、夏の新機種が発表される時期にさしかかってきています。5 月 16 日（月）には NTT ドコモが 21 機種（スマートフォン 9 機種を含む）を、同 17 日（火）には KDDI（au）が 12 機種（スマートフォン 6 機種を含む）を発表しました。

これを境にスマートフォン市場がどういった動きをみせるのでしょうか。例えば Android2.2 を搭載した中古端末が大きく値下がりするのか。また中期的には「Windows Phone 7」がキャストリングボートを握る展開もありうるのか、といった点も注目に値するかもしれません。

このように価格情報をみてとれるプライスファンを用いて、当社はネットショッピング業界およびネットオークション業界から日本経済・社会の現状把握につながる様々な調査を実施する予定です。またネットショップを対象とした価格競争対策セミナー等も開催しておりますので、ご関心のある媒体様はお問い合わせください。

※調査対象

【プライスファン】 <http://pricefan.jp/>（製品紹介サイト）



■株式会社オークファン 会社概要■

会社名：株式会社オークファン

代表者：代表取締役 武永 修一

設立：2007年6月

資本金：1億3637万円

従業員：40名（2011年2月現在）

住所：〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目21番14号 渋谷TODビル 8階

■オークファンについて■

2001年1月に開始した国内最大級のオークション一括相場検索・価格比較サイトです。

特徴としては、国内のオークションサイト（Yahoo!オークション、楽天、ビッダーズ、モバオク、その他）にアマゾン（Amazon.co.jp）、米 eBay、各ショッピングサイトを一括で検索できます。取引商品のデータベースは約10億件（流通総額約8兆円）を超え、過去に取引されたあらゆるモノ（商品）の価格や相場を検索できる機能を持っております。

■事業内容■

(1)メディア事業

月間ユニークユーザー数800万、月間ページビュー数9,000万以上を誇る国内最大のオークション統計・検索サイト『Aucfan.com（オークファン）』の運営を中心とした各種事業

(2) データ事業

国内・海外ショッピング・オークション商品取引価格データベース（約10億件以上、総流通額約8兆円）を基に法人向けの価格情報ツール『Pricefan（プライスファン）』提供を中心とした各種事業

■主なサービス■

* 「オークファン」 URL： <http://aucfan.com>

* 携帯版「オークファン」 URL： <http://m.aucfan.com>

* 「プライスファン」 URL： <http://pricefan.jp/>

* 中国語版オークファン「拍迷网」 URL： <http://cn.aucfan.com>

* オークションデータ分析ツール「オークデータ」 URL： <http://data.aucfan.com/>